

ビケンワクチンニュース

【2007年12月号】

冬季に流行がみられる感染症

インフルエンザ

【流行時期】

冬季に流行（例年11月～4月頃）

【主な症状】

急な発熱(38℃以上)、頭痛、関節痛、筋肉痛などに加えて、咽頭痛、鼻汁、咳などの症状が見られます。

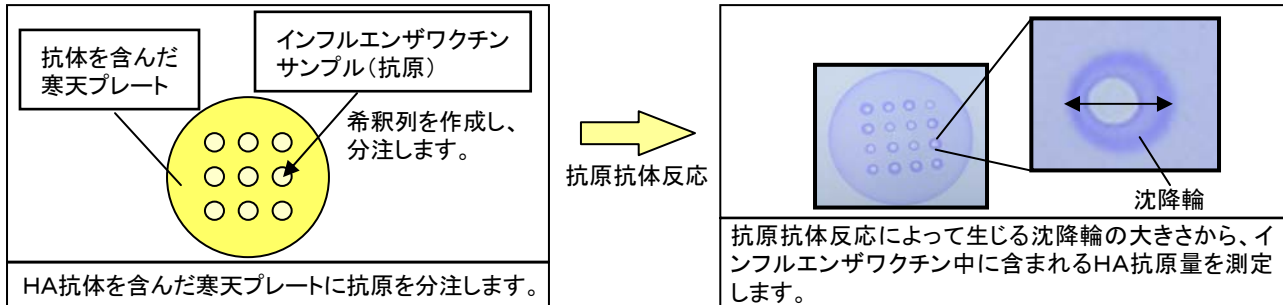
【予防対策】

- ・流行前にワクチン接種を受ける。
- ・マスク及び加湿器の使用により、乾燥を防ぐ。
- ・手洗い、うがいをしっかり行う。
- ・バランスよく栄養をとることにより、抵抗力を高める。

国立感染症研究所 感染症情報センター インフルエンザQ&A
(<http://idsc.nih.gov/jp/disease/influenza/fluQA/index.html>)

インフルエンザワクチンの品質管理試験

インフルエンザの流行季節がやってまいりました。皆様、すでにインフルエンザワクチンを接種されたでしょうか？ところで、インフルエンザワクチンの品質管理がどのように行われているかご存知でしょうか？インフルエンザワクチン特有の品質管理試験として、一元放射免疫拡散(Single radial immunodiffusion; SRD)法があります。SRD法とは、インフルエンザワクチンに含まれる有力な感染防御抗原であるHA抗原量(HA:ヘムアグルチニン)を測定することにより、有効な成分が十分量含まれているか確認する試験です。生物学的製剤基準により、「試験の成績を統計学的に処理して検体中のHAの含量(相当値)を求めるとき、1株当たり15 μ g/0.5mL以上でなければならない。」と規定されています。



ノロウイルスによる感染性胃腸炎

【流行時期】

冬季に流行（例年11月頃～4月）

【主な症状】

嘔吐、下痢、腹痛などを引き起こします。健康な方は軽症で回復しますが、高齢者・乳幼児等では重症化、吐物誤嚥による窒息等の注意が必要です。

【予防対策】

ノロウイルス(NV)はワクチンがなく、また有効な抗ウイルス剤もないため、治療は輸液などの対症療法に限られます。そのため、以下の予防対策が重要となります。

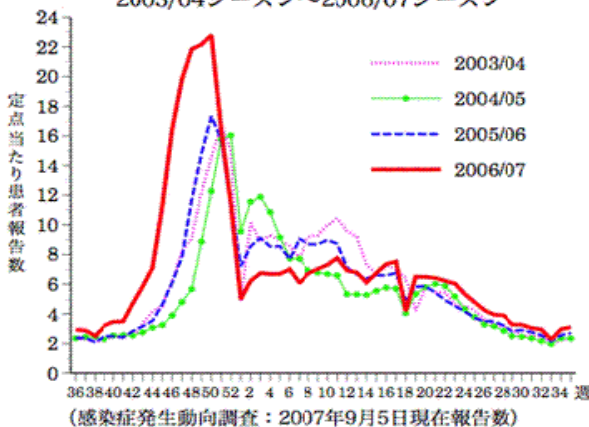
- ・手洗いをしっかり行う。
- ・食品を十分に加熱する。(85℃以上、1分間以上)
- ・調理器具等の殺菌、消毒を適切に行う。(次亜塩素酸ナトリウム、加熱)

【昨年度の流行】

昨秋冬は、NVによる食中毒の発生は大幅に増加し、平成18年のNV食中毒は、事件数499件、患者数27,616件と過去最悪の症例数が報告されました(前年と比較して、事件数225件、患者数18,889件増)。平成18年の食中毒患者数は39,026人であり、NVによる食中毒が最も多いものでした。これを受けて、厚生労働省は2007年10月12日に「ノロウイルス食中毒対策について」を公表し、注意を呼びかけています。

国立感染症研究所 IASR 10月 (<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/28/332/inx332-j.html>)
「ノロウイルス食中毒対策について」(<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/10/s1012-5.html>)

感染性胃腸炎患者週別発生状況、
2003/04シーズン～2006/07シーズン



沈降型インフルエンザワクチンH5N1「ビケン」承認

2007年10月19日に沈降型インフルエンザワクチンH5N1「ビケン」(一般的名称: 沈降型インフルエンザワクチン(H5N1株))の製造販売承認を取得致しました。これは、新型インフルエンザウイルス(H5N1株)の流行を想定したワクチンです。

企画編集 : 財団法人阪大微生物病研究会 (<http://www.biken.or.jp>)
12月号担当 : 藤田、福田、橋本、今井、藤波、岸野
発行 : 財団法人阪大微生物病研究会 / 田辺三菱製薬株式会社

▲上記本文中のホームページの内容に関するお問い合わせは、お受けしておりません。

